



成果指標				
成果指標	窓口受付件数			
指標設定の考え方	年金受給に関する申請の窓口受付件数を指標とし、市民の年金受給権が確保され、制度が円滑に行われていることの成果を測る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	4640	4640	4640	0
実績	4127	3848	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	引き続き年金事務所と連携を図りながら、広く住民の方々にできる限り情報が行き渡るよう、繰り返し、継続的な広報啓発活動を行なっていきたいと考えています。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	年金加入者にきめ細かいサービスを提供したり、利便性を向上させるためには、年金制度に関する市民への啓発の充実を図るとともに職員の知識向上に努め、円滑な事業の実施を行っていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	